

GSKの健康経営推進への取り組み

目指す姿と方針

- サイエンス、テクノロジー、人財を結集し、力を合わせて病に先手を打つというGSKの使命は、社内から始まります。私たちは、社員一人ひとりが健やかで、幸せで、自分らしくいられることを重視しています
- 私たちは社員が安全を保ち、仕事や家庭で快適に過ごせるよう支援することを目指しています。
- 社員が自ら活力のレベルを引き上げ、健康状態の向上ができるように必要なサポートを社員に提供します。
- 「Partnership for Prevention (P4P)」プログラムを提供することで、社員・家族の疾病予防に貢献します。

「健康経営優良法人2025」に認定

当社は、経済産業省が実施する「健康経営度調査」において、2024年に引き続き、「健康経営優良法人2025」に認定されました。

これまで、2017年、2018年、2019年、2020年、2022年、2023年に、健康経営度調査結果の上位500以内の「ホワイト500」の認定を受けています。



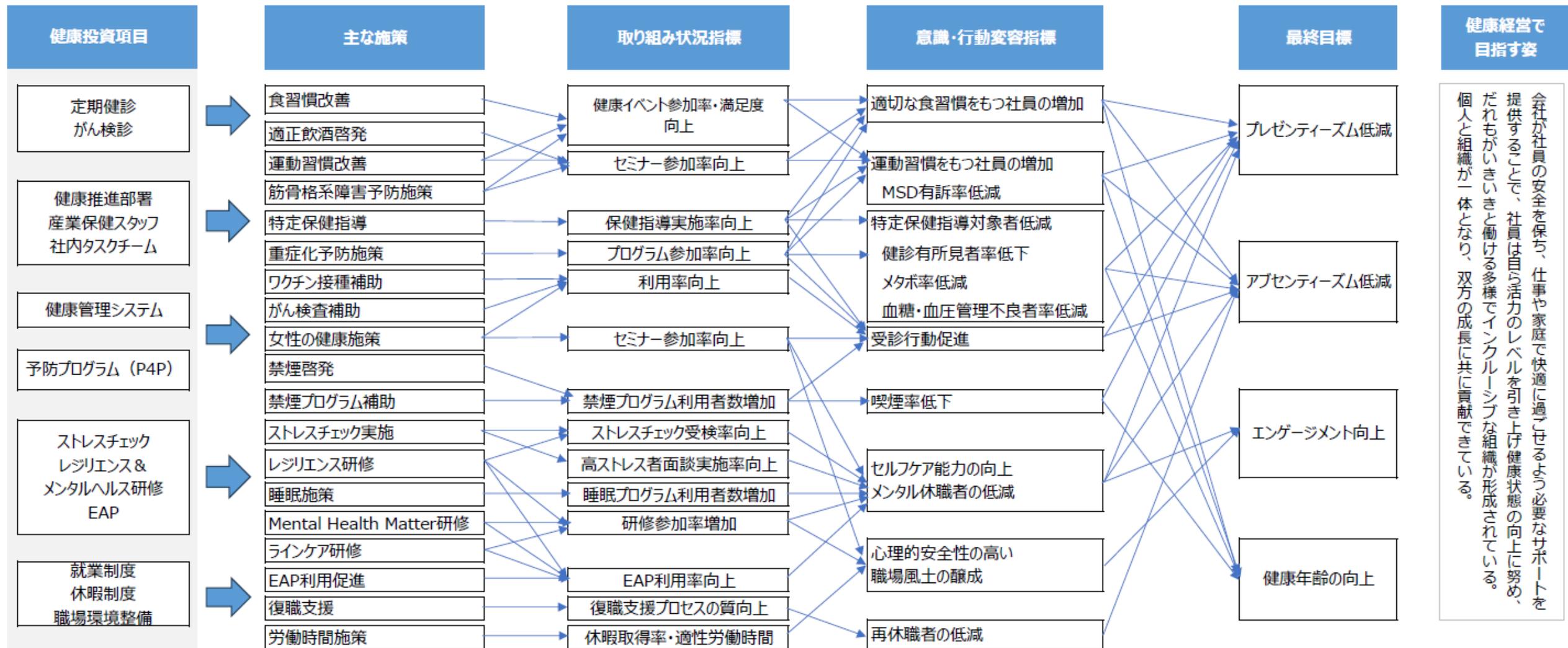
2025

健康経営優良法人

KENKO Investment for Health

大規模法人部門

健康経営戦略マップ



健康経営で 目指す姿

会社が社員の安全を保ち、仕事や家庭で快適に過ごせるよう必要なサポートを提供することで、社員は自ら活力のレベルを引き上げ健康状態の向上に努め、だれもがいまいきいきと働ける多様なインクルーシブな組織が形成されている。個人と組織が一体となり、双方の成長に共に貢献できている。

健康経営目標

健康課題を特定し、優先順位の高い項目を健康経営の重点項目として取り組むこととしています。

数値目標については、直近の状況、全国の平均値や政府等の掲げる目標値などを参考に、定期的に見直しを行っています。

重点項目	目標	KPI
がん	早期発見	胃がん、大腸がん、肺がん、乳がん、子宮頸がんのがん検診受診率90%以上
	早期治療	精密検査受診率90%以上
生活習慣病	ハイリスク者対策	ハイリスク者5%未満維持、ハイリスク者の受診率85%以上
		血圧管理不良者率0.7%未満、ECC70%以上維持
		血糖管理不良者率0.6%未満、ECC40%以上
	予備群の悪化抑制	特定保健指導終了者率95% 適正体重維持者70%以上
メンタルヘルス	意識向上	セルフケアの啓発活動の実施、管理職のラインケア研修受講率80%以上
	予防・早期発見	ストレスチェック受検率80%以上 高ストレス者の面談希望率：高ストレス判定者の10%以上
喫煙対策	禁煙サポート事業	年複数回の周知
	喫煙者率の減少	2028年末までに10%未満
健康経営の無形資産	ヘルスリテラシー	健康施策関連のセミナー・情報発信カバー率100%
	組織風土	社内サーベイでの関連調査項目における満足度の向上
職場の身体的安全	安全衛生リスク低減	業務上の重大事故ゼロ
	安全への意識向上	啓発活動を全社、事業所で実施

健康経営推進活動の実績

項目	2021年実績	2022年実績	2023年実績	2024年実績
定期健康診断受診率	99.8%	100%	99.9%	99.8%
がん検診受診率 *分母：健保加入者および 通年在籍者	-	胃がん78.9%、肺がん92.0% 大腸がん89.1%、乳がん76.4% 子宮頸がん64.1%	胃がん(35歳以上)79.2%、 肺がん(全年齢)93.7% 大腸がん(35歳以上)89.9%、 乳がん(全年齢)77.8% 子宮頸がん(全年齢)65.3%	胃がん(35歳以上)82.1%、 肺がん(全年齢)97.7% 大腸がん(35歳以上)92.4%、 乳がん(全年齢)83.8% 子宮頸がん(全年齢)68.0%
がん検診精密検査受診率	-	胃がん14.2%、肺がん18.2%、 大腸がん24.2%、乳がん17.5%、 子宮頸がん33.8%	-	胃がん34.6%、肺がん61.5%、 大腸がん50.9%、乳がん80.0%、 子宮頸がん50.0%
生活習慣病ハイリスク者	4.2%	3.8%	3.2%	3.3%
生活習慣病ハイリスク者 産業医面談実施率	100%	100%	100%	100%
特定保健指導終了率	95.5% (2020年実績)	93.2% (2021年実績)	97.8% (2022年実績)	96.9% (2023年実績)
適正体重維持率	68.0%	68.1%	66.8%	66.7%
高血圧者の治療率	90.5%	87.6%	89.3%	88.4%
ストレスチェック受検率	66.5%、高ストレス者率：9.3%	73.3%、高ストレス者率：7.6%	82.0%、高ストレス者率：8.9%	82.4%、高ストレス者率：9.4%
高ストレス者の面談希望率	受検者の0.43% 高ストレス判定者のうち4.6%	受検者の0.59% 高ストレス判定者のうち7.8%	受検者の0.67% 高ストレス判定者のうち7.6%	受検者の0.98% 高ストレス判定者のうち10.5%
喫煙率	13.5%	12.8%	12.7%	12.2%
ウォーキングイベント参加率	17.6%	21.0%	21.5%	23.4%

パフォーマンス指標

	プレゼンティーズム	アブセンティーズム	ワークエンゲージメント
2020年	11.5%	4.0	3.6
2021年	12.1%	4.1	3.6
2023年	10.8%	4.8	3.6
2024年	12.7%	6.9	3.5

各指標の測定方法概要

- プレゼンティーズム：コロボヘルス研究会の従業員アンケートの回答者のうち、Wfun (Work Functioning Impairment Scale)にて21点以上（中等度以上の労働機能障害が存在する可能性を示唆する）の従業員の割合
- アブセンティーズム：休職者のうち、特にメンタル起因の低減を目標に（休業者の延べ休業日数/全従業員×年間日数）×1000）の推移を経年比較。
- ワークエンゲージメント：コロボヘルス研究会の従業員アンケートにおける、ユトレヒト・ワーク・エンゲージメント尺度3項目（0-6点）の平均値。

健康経営推進活動の事例

GSKで実施している健康経営活動の一部をご紹介します

健康増進への取り組み

- 例年実施している「ウォーキングイベント」では、参加率や平均歩数の増加を目標として、チームビルディングやメンタル面への好影響を訴求して参加者を募りました。
- ウォーキングイベントの参加者のうち、運動量が上がったと回答したのは77.6%、イベント終了後も運動習慣を継続できると回答した社員が94.1%、平均満足度は4.1（5段階評価）でした。
- 生活習慣病の予防・改善を目的として、野菜摂取を見える化するベジチェック®を一定期間社内に常設し、期間の前後で変化量を確認できるような取り組みを行いました。また、社内カフェと共同でメニューを検討し、野菜摂取推進イベントを行いました。
- 新入社員を対象に、適正飲酒セミナーを行い、自身のアルコール分解能の認識をはかるとともに、安全運転の意識づけも行いました。

メンタルヘルス・レジリエンスへの取り組み

- セルフケア、レジリエンスの向上を目的としたe-LearningプログラムをGSK全社に導入しています。
- 新任マネージャー昇格時に、ラインケア研修を実施しています。
- 周囲にメンタルヘルスの問題を抱えた人がいる場合、どのように声掛けや対応をするか、アクションプランを学ぶことのできるe-Learningプログラムを導入しています。このプログラムの受講率目標を全社員の80%以上に掲げ、プログラムの受講推奨活動を実施しています。

社会全体の健康増進についての寄与

「自分たちにできることで、人々の健康によりよい変化をもたらす」

- 100万人の子供を命を救う助けとなることなることを目的とし、セーブ・ザ・チルドレンとパートナーシップを結んでいます。
- 年間を通し、セーブ・ザ・チルドレンへの社員の寄付募集を行っており、社員からの寄付金額と同額を会社が支援し、合算した金額をセーブ・ザ・チルドレンへ寄付しています。年に2回実施しているウォーキングキャンペーンのうち1回は、1日平均8000歩を達成した社員数に応じて、日本の子供支援活動のために寄付を行いました。
- 毎年、夏と冬の子どもたちの長期休み期間には、学校給食がなくなることで食の状況が困難となる子どもたちを支援する「子供の食 応援ボックス」の特別募金と有志による梱包作業のボランティアを行っています。
- 過去には、コロナ禍の期間に、セーブ・ザ・チルドレンと協力し、医師の資格を有するGSK社員が、学童保育の指導員に対して、感染予防・衛生管理に関するオンライン講座を実施するプロボノ活動も行いました。